

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 3183
部 名	都市部	課 名	都市交通計画課		課長名
事務事業名	公共交通計画関連事業				
予算上の事務事業名	公共交通計画関連事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		33120		
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第3章 利便性の高い公共交通網の確立をめざします				
基本施策名	第1節 利便性の高い公共交通網の確立				事業開始年度
施策名	第2施策 利便性の高い公共交通網の整備				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
公共交通の整備促進を行い、市民生活の向上と産業文化の進展に寄与するため、要望活動等の事業を行う。				市公共交通整備促進協議会	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
協議会役員による要望活動 実施日 11月11日 要望先 東日本旅客鉄道株式会社・・・横浜線及び相模線の鉄道輸送力増強について 京王電鉄株式会社・・・京王相模原線の延伸等について 小田急電鉄株式会社・・・小田急線の輸送力増強及び小田急多摩線延伸の早期実現について					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内他市町村には相模原市公共交通整備促進協議会のように、各種団体で常設された組織はなく、他市町村と比べ公共交通整備に関する計画の策定や事業の実施に際して、幅広く民意を反映することが可能である。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	132	100	100	100	100
一般財源	132	100	100	100	100
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	656	661	657	657	657
事業コスト合計	788	761	757	757	757
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	要望活動			対象名称と単位	要望件数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	15	16	18	18	18
対象数	29	29	29	29	29
単位あたり経費(円)	517	552	621	621	621
前年度比		1.07	1.13	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	要望活動の回数（回）	指標式と指標の説明	要望回数／要望予定回数×100%		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	要望事項に対する実現等実績割合	指標式と指標の説明	（実現・一部実現件数+前向きの回答件数）／要望件数×100%		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	78.6	82.1	86.2		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	78.6	82.1	86.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市民の公共交通の利便性を向上を図る上でも、協議会の要望活動を引き続き行っていく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 公共交通機関乗り継ぎ等利便性向上に関する事業を展開していく必要がある。			14 課題として認識されたこと 合併により構成団体が増加するが、構成員の見直しを行う必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			